

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 水曜・4校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(西洋古代・中世史) Society and History (Ancient and Medieval History of Europe)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:堀井 健一 /Eメールアドレス:kenhorii@infoseek.jp /研究室:教育学部堀井研究室 /TEL: /オフィスアワー:水曜日 13:10~14:10			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 主題は「西洋古代・中世の歴史概論」とし、教養としての古代ギリシア・ローマやヨーロッパ中世の社会についての知識を学びます。予習・読後レポートの2つで歴史用語などの語彙を習得し、また考えて書く力を養います。 授業方法: 教科書、配布資料、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いて歴史の流れ、要点を理解できるようにします。 授業到達目標: 西洋古代・中世の歴史を説明できるようにすることと就職試験対策としての教養の歴史の一部を学ぶことです。また、教育学部教員養成課程の学生にあっては中学社会・高校世界史の免許取得に備えて世界史の一部を学習することができます。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 主題は「西洋古代・中世の歴史概論」とし、教養としての古代ギリシア・ローマやヨーロッパ中世の社会と文化について講義します。 第1回 オリエンテーション、「歴史とは何か？」 第2回 古代ギリシア～ポリス世界 第3回 古代ギリシア～アテナイ国制史 第4回 古代ギリシア～戦争と同盟 第5回 古代ギリシア～アレクサンドロスの遠征 第6回 古代ギリシア～ギリシア文化の成立と展開1～哲学者について 第7回 古代ギリシア～ギリシア文化の成立と展開2～演劇について 第8回 古代ローマ～共和政時代 第9回 古代ローマ～元首政と帝国 第10回 古代ローマ～帝国の分裂とキリスト教 第11回 中世ヨーロッパ～封建社会の展開 第12回 中世ヨーロッパ～中世都市の成立 第13回 中世ヨーロッパ～12世紀ルネサンス 第14回 ヨーロッパの歴史と地域性 第15回 全授業の総括(試験を含む) 上記の計画はあくまで予定であり実際は計画の変更があるかもしれません。 [予習]あらかじめテキストの該当箇所を読んだ上で指定された歴史用語を調べておく。調べた歴史用語は授業時に発表してもらいます。また、調べた内容はレポートとして提出してもらいます。 [課題図書読後レポート]7月初旬を目途に課題図書の読後の感想などをレポートに書いて提出してもらいます。			
キーワード	古代社会, ヨーロッパ, ギリシア, ローマ		
教科書・教材・参考書	テキスト:『西洋の歴史 古代・中世編』(ミネルヴァ書房) 他にプリント資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(60点), 課題図書読後レポート(20点, 主として理解度・文章構成力をみる), 調べレポート(10点), 歴史用語の予習内容の発表等(10点)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			